

博士前期課程(修士) / 共通科目 / 共通科目  
目コード:200007

## 看護管理特論 Nursing Administration

担当教員	石川 倫子、木田亮平、中西容子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	○	(3)	◎
Keywords	看護サービス、リスクマネジメント、看護情報システム、危機管理、災害				
学習目的・目標	《学修目的》 看護を効果的・効率的に提供するために総合保健医療の観点から、看護の質保証・改善につながる看護管理の知識と考え方を修得し近未来に求められる看護管理を熟考する。 《学修目標》 1. 看護管理の定義、看護管理プロセスを理解する。 2. 新たな地域医療構想における看護管理者の役割と課題を見出す。 3. 看護サービスの質保証と改善の考え方を理解する。 4. 看護の質維持を考慮した災害組織対応と連携を理解する。 5. 将来に起こりうる課題に求められる看護管理を考究する。				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
1	ガイダンス・看護管理の定義・看護管理過程	講義	石川		
2～3	新たな地域医療構想と看護管理 1)新たな地域医療構想における医療機関機能 2)地域包括ケアの実現を支える保健医療福祉連携システムの構築 3)新たな地域医療構想における看護管理者の役割	講義・討論	石川		
4～5	看護における医療安全の推進と安全管理 1)医療安全施策と法制度 2)医療事故防止のための組織対応 3)安全文化醸成のための組織デザイン 4)地域のリスクマネジメントと自組織の役割 5)危機管理に備えた体制整備 6)危機管理における看護管理者の役割	講義・討論	中西		
6～7	看護サービスの質管理と災害看護	講義・討論	木田		
8～9	災害に備える組織的対応と連携(地域も含む)	講義・討議	木田		
10～11	看護サービスの質保証と評価・改善	講義・討論	木田		
12～13	看護の質向上のための情報管理 1)看護における情報システムの適用 2)看護の質向上に向けての看護情報システムの在り方 3)情報倫理と患者情報(セキュリティマネジメント)	プレゼン・討議	木田		
14～15	看護管理の展望 (人口減少・超高齢社会に求められる看護管理、もしくは災害における看護管理)	プレゼン・討議	石川・木田		
教科書	なし				
参考図書等	井部俊子監修、勝原裕美子編:看護管理学習テキスト第3版、第1～5巻、別巻、日本看護協会出版会、2024 P.F.ドラッカー、上田惇生編訳:エッセンシャル版 マネジメント 基礎と原則、ダイヤモンド社、2010 スティーブン p.ロビンズ:組織行動のマネジメント、ダイヤモンド社、2011 その他、授業の中で適宜提示する				
評価方法・基準	授業参加状況(20%)、プレゼンテーション(40%)、レポート内容(40%)から評価				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	看護管理を取り巻く課題への積極的な提言を期待します。				